

文部科学省における研究基盤施策

参考資料1
科学技術・学術審議会 先端研究基盤部会
基盤技術作業部会（第2回）
平成27年6月26日

概要

- ・科学技術イノベーション政策が目指す重要課題の達成に向けて、科学技術が貢献していくためには、研究開発基盤を強化することが重要。
- ・世界に誇る最先端研究施設の整備・共用、大学・独法等が所有する研究基盤の共用・プラットフォーム化並びに共通基盤技術の開発等を推進。

世界に誇る最先端の大型研究施設の整備・共用

○最先端大型研究施設の整備・共用

我が国が誇る最先端大型研究施設である大型放射光施設(SPring-8)、X線自由電子レーザー施設(SACLA)、大強度陽子加速器施設(J-PARC)スーパーコンピューター「京」について、安定した運転の実施、幅広い研究者等による最大限の共用を促進するとともに、最先端研究拠点としての施設の高度化や研究環境の充実を図ることで、優れた成果の創出につなげる。



SPring-8



SACLA



J-PARC

研究基盤の共用・プラットフォーム化

○先端研究基盤共用・プラットフォーム形成事業

大学・独法等が所有する先端研究施設・設備の産学官への共用を促進するとともに、これらの施設・設備のネットワーク化により、多様な利用ニーズに効果的に対応するプラットフォームを形成する。



○分野毎の特性に応じたプラットフォーム事業

- ・ナノテクノロジープラットフォーム
- ・革新的ハイパフォーマンスコンピューティングインフラ

共通基盤技術の開発

○先端計測分析技術・機器開発プログラム

先端的な計測分析技術・機器・システムの開発を産学連携で推進する。特に、新しいサイエンスの潮流を創りうる最先端の開発成果について、ユーザー等と連携した高度化・標準化を推進する。



イメージング質量顕微鏡

○光・量子科学の基盤技術開発

光・量子科学技術と他分野のニーズを結合させ、産学官の多様な研究者が連携・融合するための研究・人材育成拠点を形成し、新たな基盤技術開発と利用研究を推進する。



パワーレーザー

放射光施設



小型中性子源